



## A コース：英語で効果的に教えるための FD 研修（実践編）

（対象：専門教科の先生）

このコースは専門分野を英語で教える必要のある大学の教員の為に構成されています。すでに基礎編（2014年度～2016年度実施）を受講された先生、すでに英語で授業をされている先生にお勧め致します。

参加者には実際に英語でのミニレッスンを実施していただき、ご自身のレッスンの長所と改善ポイントを知っていただきます。また、インタラクティブな授業を運営するために必要となる、効果的な質問方法や、学生の回答に対する適切な回答方法、効果的なディスカッションの運営についてなどを学びます。

レッスン 90分×4コマ	学習するスキル・レッスン内容
Session1	オリエンテーション 1. インタラクティブな授業のために ・質問の難易度をコントロールする ・間違った答えをソフトに訂正する ・学生の質問に対応する方法 ・効果的なディスカッションの工夫
Session2	2. マイクロレッスンの実施とフィードバック ・おすすめのレッスン設計 ・トピックの選択とレッスンの準備
Session3	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>個別発表と講師、受講者からのフィードバック</p> <p>ひとり15分程度のレッスン 続いて10分程度のフィードバック</p> </div>
Session4	

※講座の特徴：ノンネイティブとしての英語で授業をする際の様々な工夫が学べる。

：日本語の授業の設計、運営にも役立つ学びがある。

：この研修自体がインタラクティブに運営されており、参加型レッスンを体験できる。

**B コース:** 『英語で効果的に授業を行うためのテクニック-Basic』  
1 day, 90 分セッション×4 コマ

このコースは、英語で授業を行うことに興味・関心のある方、また将来的にその可能性についてご検討されている方向けとなっています。こうした講座に参加するのが初めてという方、また昨年度アゴスが実施した講座に参加された方にも大変有益な内容です。

英語で授業を行う際にどのような設計をすると効果的かという技術をお伝えすると共に、一方的な講義にならずに学生たちの活発な参加を促すために役立つ手法などを扱います。理論と技術を学んでいただいた上で、それぞれに発表(模擬授業)を行う実践演習の時間があります。

Lesson	Content
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Basic presentation/lecture structure 授業実施におけるプレゼンテーション/講義の構成について</li> <li>• Signposting 論理的な構成のための手法</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Introductions 序論部分の構成</li> <li>• Finishing 結論部分の構成</li> <li>• Dealing with questions 質問事項への対応</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Basic concepts and activities for student centred lessons 学生中心の授業のための基本的コンセプトやアクティビティ</li> <li>• Classroom management techniques – giving instructions, facilitating group work, activity monitoring クラス運営における技法—教授法、グループワークの促進、アクティビティのモニタリングについて</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Practice 演習</li> </ul>

C コース: 『スピーキング・スキル-Basic』  
1 day, 90 分セッション×4 コマ

このコースは、英語を用いて授業を行ったり、何らかの学会発表などを行うまたは他の職務上の英語スピーキングを行う機会のある方を対象としています。日本人が直面する大きな壁である『発音・流暢さ』において、どのように伝わりやすいスピーキングへと変えていけるかがテーマです。

発音を始め自分のスピーキング能力に自信が持てないという方でも、講座で扱われるスキルを習得し、自己学習法をその後も実践し続けて頂くことで、「相手に伝わりやすい」話し方を身に付けられます。実践練習を多く盛り込んだ内容となっています。

Lesson	Content
1	<b>Pronunciation</b> 発音 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Phonetics 発音学</li> <li>• Connected speech 連続発音について</li> </ul>
2	<b>Overview of speaking skills</b> スピーキングスキルの概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Different types of speaking 多様なタイプのスピーキング</li> <li>• Communication vs. accuracy コミュニケーション能力と正確なスピーキング能力の重要性の比較</li> <li>• Cultural awareness 文化的背景を知ることによるスピーキングスキル向上について</li> </ul>
3	<b>Self-study techniques</b> 自己学習テクニック <ul style="list-style-type: none"> <li>• Practical techniques for speaking skills self-study スピーキングスキル自己学習のための演習テクニック</li> <li>• Creating a 'second language ego' 「第二言語的自我」の形成</li> </ul>
4	<b>Speaking practice</b> スピーキング演習 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Developing speaking through various activities スピーキング能力を向上させる様々なアクティビティの紹介</li> </ul>